

子育てお助け ハンドブック

保護者用

《保存版》

家庭学習充実に向けて



情報機器の活用(ネットトラブル予防)



「親の学習」講座事業(子育て支援)

(C) 三郷市 2009

三郷市教育委員会

生涯学習部

青少年課



家庭学習充実に向けて



「家庭学習の習慣化」に向け、「家庭での関わりが学習を変える！」(保護者用リーフレット)を令和3年度に小・中学校保護者に配付しました。お子様の家庭での学習を支えるため、4つの『関わり』を実践してみたいかがでしょうか？

家庭での関わりが学習を変える！

お子様との「関わり」を通じて、
家庭学習を習慣化しましょう！

家庭学習の習慣化に向けた**4**つの「関わり」

- 1 生活のリズムを整える
- 2 学習する雰囲気をつくる
- 3 小さな「がんばり」をほめる
- 4 家族との対話を大切にする



三郷市は「日本一の読書のまち三郷」を宣言しています。
家庭学習に加え、読書も習慣化することは
子供たちに多くの知識や教養を与えます。
一冊の本を家族で読み、
感想等を共有したり、お
子様に読み聞かせしたり
してはいかがでしょうか？

日本一の
読書のまち
三郷

家庭学習の習慣化により、最後まで頑張りぬく力や
集中力、学習への興味・関心が高まります。



1 生活のリズムを整える

○子供が守れる家庭のルールを話し合って決めましょう。

【例として】

- ・早寝、早起き、朝ごはん
- ・学校の準備は前の日に
- ・テレビやゲームの時間
- ・スマホ、タブレットの使用時間



2 学習する雰囲気をつくる

○自分や家庭で決めた時間になったら、学習に向かうよう、家族が
協力し、学習に向かう雰囲気をつくりましょう。

【例として】

- ・身の回りの整理整頓
- ・学習と休憩のバランス
- ・テレビを消して、学習に向かう環境づくり



3 小さな「がんばり」をほめる

○子供が進んでしたこと、努力したことなど、小さなことでも認めて、
ひと声かけましょう。

【例として】

- ・結果だけでなく、それまでの過程も大切に
- ・まずは認め、「よかったね。」「がんばったね。」の一言を



4 家族との対話を大切にする

○子供の話をよく聞き、保護者からも話をするようにしましょう。

【例として】

- ・まずは、家庭内の何気ないあいさつから
「おはよう」「行ってきます」「ただいま」
- ・学校からの手紙、連絡帳を毎日見る



※本リーフレットは三郷市HP(生涯学習部 青少年課)
においても掲載しています。

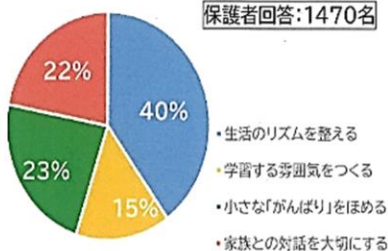


PTAによるアンケート結果(令和3年度)

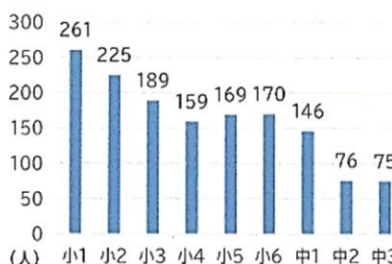
〈資料〉 PTA アンケート調査結果(「家庭での関わりが学習を変える!」)

質問1 「家庭学習の習慣化」に向けた4つの関わりの中で、家庭において一番心がけている項目は何ですか？

主な家庭での取組 ～「4つの関わり」～



回答数(学年別)



【家庭での主な取組例(抜粋)】

○生活のリズムを整える

- ・早寝、早起き
- ・バランスのよい食事、必ず3食摂取
- ・週末に家族で、1週間のスケジュール作成
- ・ゲーム20時、スマホ・テレビ21時
- ・長期休業中も通常の生活リズム

○小さな「がんばり」をほめる

- ・学習の内容をほめる
- ・一日一回ほめる
- ・子供の頑張りを家族に紹介する
- ・結果だけでなく、過程をほめる

○学習する雰囲気をつくる

- ・テレビ、音楽をつけない
- ・学習場所の統一
- ・大人も読書タイムを作る
- ・帰宅後のルーティン化
(宿題・次の日の準備・遊び など)

○家族との対話を大切にする

- ・食事中はテレビをつけない
- ・短い返事に対し、なるべく会話につなげる
- ・子供の話は、目を見て聞く
- ・リビングで家族全員が必ず集まる時間

家庭での取組の詳細・リーフレットデータ

HPのリンクへは⇒



(タッチでもリンクへ移動可)



情報機器の活用(ネットトラブル予防)



様々な情報機器の発展、スマホ世代の低年齢化により、児童・生徒のネットトラブルが増加傾向にあります。本市では、市内生徒会で作成した「小学生版 5つのケータイルール」、「中学生版 ケータイルール」を児童・生徒対象に配布しています。これらルールをもとに、ご家庭でお話してみてもいいでしょうか？

小学生版 5つのケータイルール

- 1 午後8時までに親に返そう
- 2 悪口は絶対に書きこまない
- 3 写真や動画はのせない
- 4 ながらスマホはしない
- 5 あぶない?と思ったら 開かないで親に相談しよう

小学生版「5つのケータイルール」作成委員会
各小中学校代表委員 三郷市教育委員会

家族と、友達と、守る約束をしよう
小学生版「5つのケータイルール」

- 1 午後8時までに親に返そう
健康のために、使用は1時間以内とし、必ず充電をしっかりとしましょう。
- 2 悪口は絶対に書きこまない
大事なことは相手の顔を見て話しましょう。スマホ・ケータイはしめの道具ではありません。
- 3 写真や動画はのせない
ただ一度、のせた写真からこわい事件に巻きこまれることもあります。
- 4 ながらスマホはしない
食事しながらスマホ、家族の時間がだいじです。歩きながらスマホ、たいへん危険です。勉強しながらスマホ、集中できません。
- 5 あぶない?と思ったら開かないで親に相談しよう
興味がある広告やサイトが目に入っても、すぐに開かないようにしましょう。

中学生版ケータイルール

あなたの居場所は、ネットの中じゃない。

平成26年「三郷のみんなで実現させる5つのケータイルール」が制定されました。その後、時代はケータイからスマホへと移行変わり、中学生の実態も変化した。そこで令和元年に、三郷市立中学校「ケータイルール」作成委員会が話し合いを重ね、改定版「あなたの居場所はネットの中じゃない」を制定しました。

「〇〇とスマホ」どちらが大切ですか？
今しかできないことや大切な時間が、スマホに奪われていませんか？

見られて、見せて、大丈夫ですか？
その言葉で、相手は傷つきませんか？

スマホの「あなた」は、どんな「あなた」ですか？

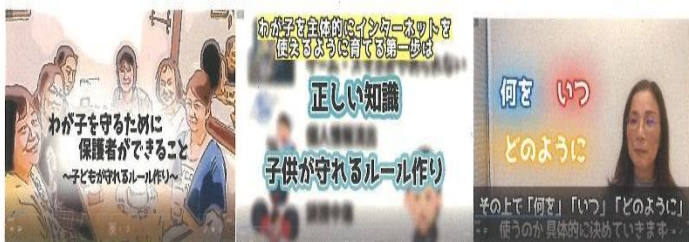
三郷市立中学校「ケータイルール」作成委員会
三郷市教育委員会

「ネットトラブル予防」保護者向け動画

【動画の概要】「わが子を守るために 私たち保護者ができること」

(参照)

(1)子どもが守れるルール作り



(2)ネットの長時間利用が及ぼす影響



(3)SNSの危険性



ここに載っている「**ケータイ**」とは、携帯やスマートフォンだけではなく、**持ち運びができるもの、すなわち「携帯」できるすべての情報機器(タブレット・ゲーム機も含む)**を示しています。

本市では毎年、小学生(5・6年)、中学生、保護者を対象に、「情報機器活用における調査」を実施しています。
その結果から見られる3つの課題における動画を掲載しています。

「ケータイルール」データ

HPのリンクへは→
(タッチでもリンクへ移動可)

「ネットトラブル予防」
保護者向け動画

HPのリンクへは→
(タッチでもリンクへ移動可)





「親の学習」講座事業(子育て支援)



本市では、平成19年度より、「親の学習」講座事業を実施しています。

「親の学習」とは、埼玉県で推進している事業の1つであり、①保護者を対象とした「親の学習」講座、②中学生・高校生を対象とした「親になるための学習」講座があります。

講座は、ファシリテーター(学習支援者:埼玉県家庭教育アドバイザー)が指導者となり、参加者の主体的な話し合いや体験活動などから、「気づき」へと導くものです。

「親の学習」講座<予定>

様々なテーマで毎月、実施しています。

今年度の予定詳細は右の QR コードよりご確認ください。



こちら⇒

(タッチでもリンクへ移動可)

「親の学習」講座 <方法>

対面またはオンラインでの実施となります。

オンライン(ZOOM)への参加

※参加の際は、①「ZOOM アプリ」のダウンロード

②「Wifi 環境での接続」をお願いします。



こちら⇒

(タッチでもリンクへ移動可)

「親の学習」に関する動画等

「親の学習」講座の概要について、以下のカテゴリーに分け、掲載しています。右の QR コードより本市 HP から閲覧可能になります。



こちら⇒

(タッチでもリンクへ移動可)

- (1)「親の学習」って？
- (2)「家庭学習」の定着に向けて
- (3)「インターネット・情報モラル」動画集
- (4)「わが子を守るために私たち保護者ができること」【ネットトラブル予防動画集】

- (5)「親の学習」プログラム動画集
- (6)『子育ての目安「3つのめばえ」』動画集
- (7)毎月の「親の学習講座」

※動画は、1本あたり3～5分程度です。



<参考資料>小学校入学前に配布されます。
「子育ての目安 3つのめばえ」

